

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 7 月 19 日 (2007.7.19)

【公開番号】特開 2001-356488 (P2001-356488A)
 【公開日】平成 13 年 12 月 26 日 (2001.12.26)
 【出願番号】特願 2000-178253 (P2000-178253)
 【国際特許分類】

G 0 3 F 7/20 (2006.01)

H 0 1 L 21/027 (2006.01)

【F I】

G 0 3 F 7/20 5 0 5

G 0 3 F 7/20 5 0 1

H 0 1 L 21/30 5 2 9

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 6 月 5 日 (2007.6.5)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 3 5
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 3 5】

ところで、被描画体 5 0 の描画面上に非可視光にのみ感光する感光材料が塗布されている場合、波長選択フィルタ 6 0 を取り外し、描画光及びアラインメント光をともに描画面へ入射させる構成としても、アラインメント光により変調光学系 2 0 の光軸 A x の調整を行うことができる。但し、レーザ光源 1 0 が、紫外領域の波長のみからなるレーザ光を描画光として発するガスレーザであると、レーザ光源 1 0 から発せられる紫外光に対して可視光の強度がかなり強いために、感光材料が感光し、或いは焼き付く虞がある。従って、描画する時に使用しない可視領域の波長は、できるだけ除去しておくことが好ましい。